



明治大学校友会

MEIJI UNIVERSITY

福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

風のふくおか



31号

2013年1月



マッキンリー山頂

北米最高峰のマッキンリー山(6194m)。その山名は昭和59年2月、母校山岳部出身の登山家・冒険家だった植村直己氏(39年農学部卒)が世界初の厳冬期単独登頂を遂げた後、下山途中で遭難した山として多くの人々の記憶に刻まれることになった。平成24年7月、観光旅行でアラスカを訪れ、マッキンリー遊覧飛行の為にデナリ・エアという航空会社の事務所に入った田籠讓二校友(昭和36年政経卒)はそこで思いがけず母校のロゴがあしらわれたペナントと遭遇。思わずカメラのシャッターを切ったという。



田籠讓二校友

「私が勤務していたRKB毎日放送に大学の同期卒業で明大山岳部出身の東真人校友(故人)がいて、明大山岳部が昭和35年にマッキンリーに遠征した時の一員だったと聞いていたこともあり、不思議な縁を感じた」(田籠校友)。先行きの見通せない、今の混沌とした時代にこそ、植村氏のアドベンチャー・スピリットに学ぶべきことは多いと思う。

(文責: 斉藤)



遊覧飛行のセスナ機

謹賀新年

新年おめでとうございます。
 校友の皆様におかれましては、
つつが恙なく素晴らしい新年をお迎え
 のこととお慶び申し上げます。
 本年も皆様にとりまして幸多き
 良い年でありますように心より
 お祈り申し上げます。



福岡市地域支部
 支部長 矢谷 学

日頃より明治大学の発展並びに校友会の活動、福岡市地域支部の活動に対し、ご理解・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

明治大学は、その歴史と「権利自由」「独立自治」の伝統を礎に、様々な改革を推進し、大学の数が增加する中で更に質の高い大学を目指し「世界に開かれた大学」として、また『個』を強くする大学として、未来を切り拓く人材の育成に努め、挑戦し続けています。その姿勢が、魅力ある大学として高く評価され、入試志願者数日本一という成果に表れていると考えています。

そうした中、校友会は「本部との連携による大学賛助の事業」「校友相互の親睦・交流」「地域社会への貢献」を目的に目下活動しているところです。

さて、昨年9月29日に行われました福岡市地域支部総会におきまして、小川前支部長を初め先輩各位、後輩の方々のご推薦を受け、新支部長に就任させていただくことになりました。浅学非才の若輩ではございますが、明治34年から続く伝統の福岡支部（現福岡市地域支部）の更なる発展の為に粉骨砕身する所存でございますのでご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

私は、古賀先輩、小川先輩の様な社会的知名度は全くありませんが、昭和60年から幹事を初め事務局・常任幹事・事務局長・幹事長をさせていただきました経験を生かせとこのことをご指名を受けたと考えております。また、新しい執行部の役員は昭和50

年以降卒業の校友で構成させていただきました。若い諸君の力で、母校の発展に寄与し、諸先輩のご指導とご協力を得ながら会員相互の親睦と交流を図るとともに、「紫紺ネットの活用」「支部だよりの更なる充実」「HPの活性化」等で、校友会活動・運営を展開してまいり所存であります。

現在、福岡県支部の校友は、約5,500名でその内約3,000名（55%）が福岡市を中心とした福岡市地域支部エリアにいらっしゃいます。転勤族も多く、会員の入れ替わりもありますが、新入会員を温かく迎え入れ、転出者を良き思い出とともに送り出すといった、情に厚い交流を今後も続けていきたいと考えております。

向殿校友会会長いわく『明治大学は卒業してから年を取ればとるほど好きになる不思議な大学』であり、校友会のスローガンである『明治はひとつ』を素直に感じ、母校を誇りに思うことができるのは、この上ない喜びであります。

明治大学を出たという縁を大切に、若年層や女性が「参加したい校友会」を目指し、さまざまな活動をさらに一層、魅力的なものにパワーアップし、校友の輪がさらに広がるよう尽力してまいります。その為にも校友の皆様には、一人でも多くのご参加をお願い申し上げます。

本年の全国校友大会は10月5日に大分県別府市で開催されます。『明治は一つ』『九州も一つ』を合言葉にお手伝いし、校友会の一体感を更に前進させたいと考えております。また、明治大学主催の大学教授陣の公開講演会を9月に福岡市で開催予定でありますので、併せて多くの校友のご参加をお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校明治大学の益々の発展と校友の皆様の一層の、ご健勝とご多幸を祈念しまして、新年のご挨拶と就任のご挨拶とさせていただきます。



<略歴>

昭和50年（1975年） 法学部法律学科卒業
 昭和50年（1975年） 麻生セメント株式会社入社
 昭和56年（1981年） 同社愛媛支店配属・校友会愛媛支部加入
 昭和59年（1984年） 帰福後、応援団OBの故林凱也先輩の勧めで福岡支部加入
 昭和60年（1985年） 福岡支部幹事就任
 昭和61年（1986年） 全国校友福岡大会の開催を機に発足した福岡県連合支部の事務局を担当

平成 2年（1990年） 衆議院議員第1秘書
 平成 7年（1995年） 福岡支部常任幹事・本部代議員
 平成 9年（1997年） 三栄印刷株式会社入社 専務取締役就任
 平成12年（2000年） 福岡県連合支部・福岡支部事務局長就任
 平成15年（2003年） 福岡県支部発足
 福岡県支部幹事長・本部員就任
 平成16年（2004年） 第40回全国校友福岡大会の開催
 平成17年（2005年） 福岡市地域支部幹事長就任

福岡市地域支部の活動採録

平成24年明治大学校友会福岡市地域支部総会・懇親会

矢谷幹事長の支部長就任で新体制がスタート

福岡市地域支部は9月29日、中央区渡辺通4丁目のセントラルホテルフクオカで平成24年明治大学校友会福岡市地域支部総会・懇親会を開催した。

当日は同支部所属の校友をはじめ、福岡県父母会や同県支部、久留米、小倉、田川、筑豊、八幡の各地域支部の来賓など、約100名が出席。鈴木弘幸校友の司会・進行で開会した総会ではまず、昨年の総会以降に逝去された校友に対して出席者が黙祷。続く支部長挨拶では今総会で退任予定の小川弘毅支部長（当時）が登壇。「2年前に推薦を受けて支部長に就任したが、体調を崩してしまって十分な働きができなかったことをお詫び申し上げたい。後任として矢谷学幹事長が新支部長に就任する予定となっている。これまでの校友会活動におけるさまざまな実績から適任であると思っている。福岡市地域支部のさらなる活性化に向けて力を発揮していただけると思う。私自身、支部長を退任した後もできる限り支部活動を支えていくつもり。皆様におかれましても、ご理解・ご協力を賜りたい」などと語った。

会務報告では矢谷幹事長（当時）が23年度の事業報告ならびに24年度の事業計画を報告。続いて、佐藤洋幹事が23年度収支決算ならびに24年度予算



挨拶する小川弘毅支部長（当時）

案の報告を行った。収支決算に対する監査報告では、井手安美監査役（当時）が「監査の結果、問題はなかった」と報告。収支決算ならびに予算案は出席者の拍手により承認された。また、役員改選報告では矢谷幹事長（同）が支部長就任に当たって「皆様のご協力のもと、大学の賛助、校友間の連携、地域貢献に取り組みたい」などと抱負を語った。



乾杯の音頭をとる栗山富美子・県父母会副会長

引き続き開会された懇親会では来賓紹介に続く来賓挨拶で登壇した絹笠順一・県支部長が「関東エリアの支部と比べれば、福岡の支部は規模は小さい。しかし、その存在感は全国屈指といえる。その福岡市地域支部の新支部長に就任した矢谷さんには校友会本部との繋がりの深さを活かし、地域支部のみならず県支部も大いに盛り上げていただきたい」などと述べた。

福岡県父母会の栗山富美子副会長の乾杯の音頭で懇親会へ。新入会員紹介やアトラクションなどで盛り上がった懇親会は、九州六旗会の定例会に出席した後当懇親会に東京から飛び入り参加した応援団OBならびに田川地域支部の津島潔事務局長と共に登壇した上杉鷹雄・新顧問の指導による校歌斉唱とエールで締めくくられた。

総会で承認された新役員一覧

役職	氏名	卒年	学部	役職	氏名	卒年	学部
名誉支部長	小川 弘毅	39	政経				
支部長	矢谷 学	50	法				
副支部長	善 敏治	50	工	副支部長	松本 優三	56	商
幹事長	鈴木 弘幸	56	政経				
幹事	佐藤 洋	52	商	幹事	二木 清彦	52	政経
〃	本田 博志	52	法	〃	福永 英男	56	政経
〃	緒方 弘臣	60	法	〃	藤瀬 浩幸	60	営
〃	松山 孝義	60	法	〃	新原 範昭	63	農
〃	斉藤 博文	H01	文	〃	高野 礼子	H01	法
〃	今井 葉子	H04	経営	〃	逸見 明正	H06	商
〃	津田 恭宏	H06	理工	〃	石迫 弘久	H08	文
〃(事務局)	女賀 信治	H09	商	〃(会計)	土井 経世	H11(H14)	政経(博士課程)
監査委員	佐々木 義宣	37	文	監査委員	伊東 吉之助	43	政経
顧問	小石原 英照	27	商	顧問	奥蘭 克彦	29	法
〃	安永 富士男	30	商	〃	塩崎 正臣	30	文
〃	長谷川 敏夫	30	商	〃	井手 安美	31	工
〃	荻原 弘章	33	法	〃	上杉 鷹雄	33	商
〃	神永 正夫	37	法	〃	溝口 正憲	37	政経
〃	内田 紀生	40	法	〃	野口 順四郎	41	法
〃	高園 義郷	42	文	〃	井手 健	49	工

総会で承認された23年度収支決算ならびに24年度予算案

明治大学校友会 福岡市地域支部 平成23年度 収支決算書					
自 平成23年4月 1日		(単位:円)			
至 平成24年3月31日					
収入の部			支出の部		
費目	予算額	決算額	費目	予算額	決算額
I. 地域支部会費収入			I. 事業費		
年会費	741,000	702,000	全国大会参加費	60,000	120,000
総会懇話会費	469,000	469,000	他支部・六大学等交流費	60,000	102,000
新年交社会費	450,000	548,000	活性化事業費	300,000	187,000
			その他事業費	25,000	14,000
II. 広告収入			II. 広報費		
支部より広告	180,000	181,000	地域支部会報発行費	310,000	286,510
III. 寄付金収入			III. 運営費		
祝儀(総会)	20,000	20,000	支部ホームページ維持費	30,000	27,930
祝儀(交社会)	20,000	25,000	会議費		
IV. 雑収入			IV. 予備費		
賛助金	500,000	500,000	1)幹事会費	140,000	77,995
受取利息	500	144	2)その他会議費	180,000	170,800
その他雑収入	120,000	34,000	3)懇親会経費	410,000	444,376
			4)新年交社会経費	400,000	508,345
			事務費		
			1)振込費	250,000	278,139
			2)印刷代	80,000	85,784
			3)封入・宛名シール等費用	85,000	99,864
			4)交通費	30,000	10,460
			5)雑費	50,000	68,274
			予備費		
			予備費	100,000	
小計	2,491,500	2,479,144	小計	2,490,000	2,481,477
前年度繰越金	1,513,181	1,513,181	次年度繰越金	1,514,681	1,510,848
合計	4,004,681	3,992,325	合計	4,004,681	3,992,325

明治大学校友会 福岡市地域支部 平成24年度 予算案(案)					
自 平成24年4月 1日		(単位:円)			
至 平成25年3月31日					
収入の部			支出の部		
費目	23年度実績	24年度予算	費目	23年度実績	24年度予算
I. 地域支部会費収入			I. 事業費		
年会費	702,000	710,000	全国大会参加費	120,000	120,000
懇話会費	469,000	470,000	他支部・六大学等交流費	102,000	100,000
新年交社会費	548,000	550,000	活性化事業費	187,000	300,000
			その他事業費	14,000	15,000
II. 広告収入			II. 広報費		
支部より広告	181,000	180,000	地域支部会報発行費	286,510	300,000
III. 寄付金収入			III. 運営費		
祝儀(懇親会)	20,000	20,000	支部ホームページ維持費	27,930	30,000
祝儀(交社会)	25,000	20,000	会議費		
IV. 雑収入			IV. 予備費		
賛助金	500,000	500,000	1)幹事会費	77,995	100,000
受取利息	144	500	2)その他会議費	170,800	120,000
その他雑収入	34,000	80,000	3)懇親会費	444,376	430,000
			4)新年交社会費	508,345	500,000
			事務費		
			1)振込費	278,139	200,000
			2)印刷代	85,784	60,000
			3)封入・宛名シール等費用	99,864	85,000
			4)交通費	10,460	20,000
			5)雑費	68,274	50,000
			予備費	0	100,000
小計	2,479,144	2,530,500	小計	2,481,477	2,530,000
前年度繰越金	1,513,181	1,510,848	次年度繰越金	1,510,848	1,511,348
合計	3,992,325	4,041,348	合計	3,992,325	4,041,348

第16回東京六大学対校ゴルフコンペ

●●● Topic

去る10月20日、伊都ゴルフ倶楽部にて、第16回東京六大学対校コンペが開催されました。当日は、各大学から、総勢96名の方が参加され、秋の晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和中、プレーを楽しみました。

伊都ゴルフ倶楽部でのプレーの後は、八仙閣に場所を移して、懇親会(表彰式)が盛大に行われました。懇親会では、県内各支部の有志から、たくさん賞品を提供していただき、大いに盛り上がりました。

東京六大学コンペ対校戦の結果は、優勝は法政大学でした。我らが明治大学は・・・0.4ポイント差で準優勝となりました。来年は、優勝を奪還したいです!



個人戦では、明治大学の佐多浩彦さん(H8年卒)が見事優勝されました。

この年に1回の東京六大学ゴルフを私はとても楽しみにしています。



なぜなら、他大学の方と交流ができて、優勝者 佐多浩彦さんだからです。参加し始めた当初は、とても緊張しましたが、回を重ねるたびに他大学の知り合いの方も増え、プレーしながら、学生の頃の話や仕事の話等、楽しい時間を過ごすことができます。もっと多くの方に参加



していただき、明治の輪、東京六大学の輪を上げていければと思います。

(H17年政経卒)

櫻木慶子



Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

取締役会長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12
TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

明治大学校友会福岡県支部台湾支部総会旅行記



平成24年11月24日（土）、福岡県支部は絹笠福岡県支部長を団長に先発隊を含む合計14名で校友会台湾支部総会に向けて2泊3日福岡空港を出発しました。

絹笠先輩のとある事情？のおかげで入国審査もVIP待遇を受けた高野&葉先輩ご夫婦。

前途も明るい旅行の始まり、始まり～。台北空港で韓国の巖先輩ご夫婦とも合流。

1日目は台北近郊の陶磁器の町鶯歌を散策。立派な（しかも無料）博物館でしっかり陶磁器の勉強をした？後、陶磁器を買い集める？とおもいきや屋台で腸詰やらキノコスープやらの買い食い。

夜は明治大学校友会台湾支部総会に出席。本学から橋口理事の現在の大学の状況、特に国際化を目指し、日本と海外の学生交流、留学生促進などについてお話がありました。

こちらでも絹笠先輩の簡潔かつ明瞭な明治大学らしい挨拶あり、来年の全国大会を開催する大分県支部の紹介もありました。宴も深まると大カラオケ大会。福岡県支部も永淵先輩の英語の歌（すいません、あまりにも上手で曲名忘れまし）などで100名ほどの会場は大いに盛り上がり、あちらこちらで乾杯！（完杯！）の音が響きました。

ちなみにフェイスブックで大活躍の岡村校友は若い校友に大もて。

翌日、午前中はフリータイムということで佐藤添乗員のもと7名、地下鉄に乗って港町、淡水へ。この地下鉄の切符の買い方から一大事。画面をタッチしてお金を入れるのですが、切符が紙ではなく、プラスチックのコイン状のもので（なんとエコな台湾！）びっくり。

それが出てきたにも関わらず、切符が出てこん！と大騒ぎになりました。また、改札の通し方も分からず（コインをタッチするのですが）



右往左往。淡水について、紅毛城を観光したあと、ぶらぶら。帰りの駅で絹笠先輩と古賀先輩の姿がない！とあわてるとお2人仲良くソフトクリームを手に持ってにこにこ。微笑ましい姿でした。

午後、明治大学マンドリン部OBによる演奏会を国父記念館で鑑賞でした。これが2400人も入る立派な会場。ほぼ台湾の方で満席状態でした。OBによる演奏はもちろん、台湾の著名な盲目歌手蕭さん、ソプラノ歌手呂さん、日本舞踊、と様々な台湾の方とのコラボで拍手喝采。

最後、終宴の音楽が明治大学校歌、ここは立って歌わねば！と福岡県支部、でっかい声で気持ちよく歌ってきました。

3日間という短い時間でしたが台湾支部はもちろん、大分県支部、韓国支部、そして何よりも福岡県支部の先輩、後輩の皆さまのご協力の元、素晴らしい旅行ができました。これからも校友の交流を深め、ワールドワイドな福岡県支部を目指してがんばりますばーい。

高野礼子（平成元年法卒）

台湾関連レポート 中華民国101年国慶節

中華民国の建国記念日である101回目の国慶節祝賀会が、さる10月5日ホテルオークラ「平安の間」で行われ、台湾との交流の深い関係団体の方や企業の方でにぎわった。明大校友会福岡県支部にもご案内をいただき、福岡市地域支部からも矢谷支部長はじめ十数名の校友が参加した。

開会に続き、台北駐福岡経済文化弁事所（領事館）の曾念相所長から、台湾の最近の状況、日本との関係など話があった。それによると、台湾は今年の建国100年から新しい100年に向けてスタートしたが、太陽光発電やソーラーパネル分野では世界のトップクラスになり、世界主要国50カ国の政策評価では、シンガポール、スイス、ノルウェーに続き4番目の高い評価をもらった。また、日本とは過去40年間切っても切れない関係が続いており、台湾人は日本人を一番好きな国だと思っている、これも皆様のおかげだと感謝され、これからも世界のピースメーカー、文化推進者、国際社会の貢献者としてのリー

ダーをめざしてがんばりたいと話された。最後に直近のニュースとして台北の故宮博物院の九州国立博物館での開催が決定したことを報告されると、会場内から歓声と拍手がおこった。（後日正式に新聞にも発表された）



台北駐福岡経済文化弁事所の前所長が、明大校友の周碩穎氏だったことから祝賀会などにも招待を受け、また明大校友会台湾支部とも総会出席などで密度の濃い交流が続いている。昨今の東シナ海の問題があるが、こういう時こそお互い一人一人の交流が重要になってくるのではないだろうか。今年も11月24日から台湾支部の総会があるが、福岡からも多くの校友が出席し交流を深めてくることを期待したい。

本田博志（昭52法卒）

「東の会忘年会」開催!!

●●● Topic

去る平成24年11月9日（金）、恒例の「東の会」忘年会が開催されました。

「東の会」は、故森泰播先輩が中心となり東区に縁がある緒先輩達为中心となり結成され、すでに28年の歴史を誇っています。今年の「東の会」忘年会は、上杉先輩



野口順四郎代表

経営の「杉庵」で開催しました。今年から野口先輩（昭和41年法学部卒）が東の会代表を務められ、参加者「増」を目標にご案内した結果、24名の参加をいただき、久々の大人数でのにぎやかな雰囲気での忘年会となりました。

今回も「東の会」の紅一点、姫地さん（旧姓中村さん、平成4年経営卒）を始め、古森さん（平成17年政経卒）、

女賀さん（平成9年商卒）ら平成卒の若手の参加をいただき、平均年齢が若返った「東の会」となりました。



アルコールが入るにつれ、先輩方の昔話に花が咲き、例年どおりの盛り上がった宴会となりました。

最後は上杉先輩（昭和33年商卒）の見事なエールの元、名歌、明治大学校歌を声高らかに斉唱し、また来年の再会を誓って解散しました。

記録：東の会連絡係 大田芳弘

第7回「西の会」開かる

●●● Topic

恒例の西の会が先霜月の17日に、いつもの室見川河畔の料亭「三四郎」で開かれました。

それに先立つ10月29日に、西の会の幹事7名（2名欠）が集まり、今年の会開催について打ち合わせを行い、日程等の他に今年は新しい試みとして、卓話を懇親の前にやろうという事を決め、その内容については今世界の眼を集めている東南アジアについて、現地事情に詳しい宮本氏（九電工勤務、福岡および九経連海外進出アドバイザー）をお願いすることにし、当日は、魅力溢れる地東南アジアで起業をするについての基礎的な事柄についての話をしてもらいました。{校友で東南アジアでの起業、進出に興味のある方は、遠慮なく宮本氏に相談ください。

tel523-1696}

当日は、西区を中心とした校友に、支部の支部長、副支部長、顧問の方々、平成卒の若手を加えて31名の出席があり、例によって、美味しい料理に、飲み放題のお酒で時の経つのを忘れて盛り上がりました。



最後は“おお明治”の歌声が室見川の間に流れ、青春時代に引き戻される幸せを感じつつ、再会を約してお開きとなりました。

井手安美（昭和31年工卒）

南の会

●●● Topic

9回目となる集いに44人が出席

福岡市南区在住の校友を中心とした「南の会」（神永正夫会長）が12月1日、南区大橋の田すずめで第9回目となる集いを開いた。

当日は、初参加の校友3人を含む44人が参加。鈴木弘幸・市地域支部幹事長の司会で開会した同会はまず、会長挨拶で神永会長が「今回で9回目の開催となるが、回を重ねるごとに親睦の輪が深まっているように思う。今日は学生時代の気分で大いに飲んで、語らっていただきたい」と挨拶。小石原英照・市地域支部顧問の挨拶、市地

域支部新役員紹介、矢谷学・地域支部長挨拶、初参加者紹介に続いて安永富士男・市地域支部顧問の乾杯の音頭で懇親会へ。参加者が和やかに歓談する光景が見られた。



最後は上杉鷹雄・市地域支部顧問の指導による校歌斉唱、大牟田市地域支部から駆けつけた西山孝二校友の万歳三唱で締めくくられた。

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要なと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからもいろんなところで
カタチにしていきたい。



いつも人が
発想の原点。

株式会社 松本組

代表取締役社長 松本優三（56年商学部卒）

[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031(代)

平成24年度福岡市地域支部「年会費」納入のお礼

平成24年度「年会費（3,000円）」納入ありがとうございました。

平24年12月10日現在、下記の校友213名から年会費を納入いただいております。

地域支部年会費「振込用紙（郵便局）」は、毎年7～8月頃に「支部総会案内」及び支部だより「風のふくおか」と共に送付させて頂いております。

まだ未納付の校友がおられましたら、お振り込みをお願いいたします。（年明け1月の「新年交礼会」でも受付でも納入できます）

福岡県支部は本校からの助成金等で運営されておりますが、福岡市地域支部は下記のグラフの通り、校友の年会費で経常費を賄い運営されております。

矢谷新支部長の下で一層の地域支部活性化を目指し、新幹事一同支部活動に邁進しております。

皆様の周囲に支部活動に参加していない校友、年会費を納めていない校友がおられましたら、是非一言声かけていただき校友会参加、年会費納入を勧めて頂きたく、この紙面を借りてお願いいたします。

納入者一覧（敬称略、順不同）

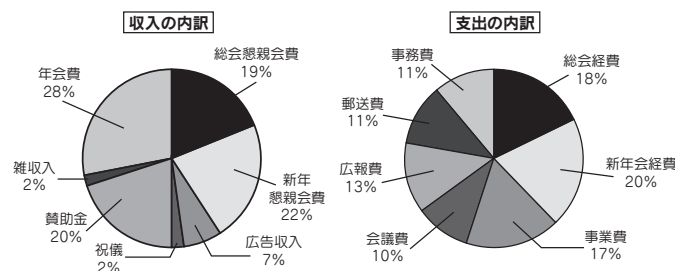
※12月10日（事務局に振込連絡）現在

安部 榮一	瓜 生 勇	貴 戸 昇 司	佐 藤 威	田 籠 讓 二	中 野 正	福 永 英 男	女 賀 信 治
安部 通 明	江 藤 成 人	木 村 和 彦	佐 藤 剛	田 籠 太 郎	中 原 淳 二	藤 田 一 枝	森 重 隆
有 吉 正 昭	王 丸 傑 元	喜 代 美 一 之	佐 藤 俊 則	田 島 隆 信	中 村 衛 助	藤 野 勝 也	盛 高 幸 男
井 浦 由 紀 子	大 石 秀 雄	草 場 杉 夫	佐 藤 洋	橘 蘭 一	中 村 淑 子	藤 光 悦 子	安 永 富 士 男
池 田 五 郎	大 岡 賢 而	國 武 統 士	佐 野 貞 和	立 石 傳	樫 橋 直 人	藤 吉 正	矢 谷 学
石 迫 弘 久	大 園 勝	黒 川 正 道	塩 崎 正 臣	田 中 勝 美	新 原 範 昭	古 澤 英 治	八 尋 慶 太
石 井 義 孝	大 原 重 徳	小 石 原 英 照	式 守 美 代 子	田 中 邦 穂	西 嶋 宏 治	細 川 政 春	矢 吹 政 秀
井 手 健	大 屋 湊 一	上 月 武 志	島 田 友 喜	田 中 幸 穂	西 野 龍 太 郎	本 田 博 志	山 内 計 壽
井 手 安 美	緒 方 邦 章	古 賀 伸 武	清 水 保 一	田 中 久 也	西 村 昭 郎	牧 原 陽 一	山 口 春 幸
伊 藤 重 行	緒 方 裕 三	古 賀 之 士	城 島 宏 典	田 中 裕 一 郎	野 口 順 四 郎	増 井 敦 章	山 崎 重 喜
伊 藤 文 武	岡 本 彰	小 部 屋 功	神 野 泰 朗	谷 恭 一	野 田 武 雄	松 尾 勝 司	山 田 記 義
伊 東 吉 之 助	荻 原 弘 章	小 林 文 雄	末 次 瑞 穂	谷 川 壽 男	野 村 勇	松 尾 耕 造	山 田 常 男
今 井 葉 子	奥 園 克 彦	小 松 和 夫	杉 山 元 治	谷 本 進	萩 尾 政 明	松 尾 洋 爾	大 和 亨
今 泉 正	奥 村 勝 美	古 本 真 由 美	壽 崎 豪	長 孝 幸	橋 本 敏 夫	松 原 直	山 本 繁 明
今 留 注 邦 明	小 田 拓 生	小 柳 平 八 郎	鈴 木 弘 幸	塚 本 芳 明	長 谷 川 敏 夫	松 本 優 三	湯 田 紀 之
岩 崎 明 弘	小 野 繁	権 藤 茂	関 賢 司	津 島 潔	花 田 重 人	松 山 孝 義	横 山 秀 司
井 口 忠 二	小 野 淑 史	齋 藤 七 平	関 順 治	津 田 恭 宏	濱 口 比 呂 光	松 山 政 司	吉 田 英 介
岩 崎 敏 幸	香 月 建 志	齋 藤 信 泰	瀬 戸 敏 郎	角 田 喜 弘	濱 小 路 喜 伴	三 角 勝 信	吉 田 進 一
岩 崎 豊	香 月 徳 子	齊 藤 博 文	善 敏 治	土 井 経 世	濱 田 英 夫	溝 口 正 憲	吉 田 哲 啓
岩 田 憲 明	金 丸 順 一	佐 伯 詩 織	園 田 博 茂	富 永 信 吉	林 伸 英	三 井 成 隆	吉 田 幸 滋
牛 尾 静 雄	金 成 勝 雄	坂 井 武 敏	高 園 義 郷	留 川 公 明	林 文 郎	光 安 力	吉 田 了 介
牛 島 正 之	鐘ヶ江 哲 也	坂 口 憲 義	高 野 礼 子	鳥 巢 尚 吉	原 弘 二 郎	峯 村 映 二	吉 松 幹 生
内 田 紀 生	鐘ヶ江 輝 明	鷺 山 陽 一	高 原 眞	内 藤 龍 夫	日 高 梓	三 野 原 和 光	米 田 康 一
内 田 雄 二	家 守 晴 子	作 野 士 郎	高 松 康 祐	長 井 賢 祐	日 高 章 吉	宮 崎 良 助	渡 辺 勝 三 郎
宇 野 伸 明	川 神 巖	櫻 木 慶 子	高 村 和 久	中 倉 淳 一	姫 地 徳 子	宮 山 和 久	
鶉 木 茂	川 庄 康 夫	佐 々 木 義 宣	高 柳 詔 一	長 坂 幸 博	平 山 又 生	向 川 原 賢 之	
占 部 一 雄	川 原 均	貞 方 道 夫	高 山 展 誉	中 島 孝 芳	廣 瀬 修 一	武 藤 健 二 郎	

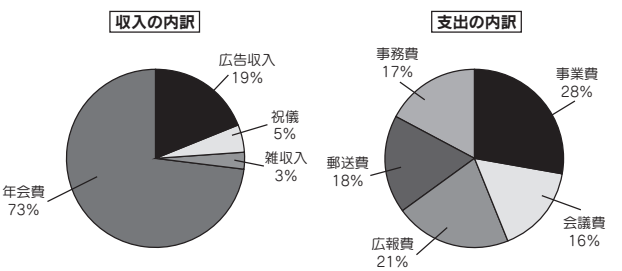
もし、記載漏れの校友がおられましたら失礼をお詫びいたします。（会計幹事までお知らせ下さい）

平成23年度 福岡市地域支部 収支内訳

1. 支部「全体の収入及び支出」の内訳



2. 総会懇親会・新年交礼会懇親会関連、賛助金を除く「経常収入、支出」の内訳



●総会・懇親会での懇親会関連収入・支出、賛助金（寄付金）を除くと、通常の支部運営費用の7割以上を「校友からの年会費」収入に頼り、地域支部運営を行っている

新体制後初となる幹事会を開催

福岡市地域支部（矢谷学支部長）は11月28日、中央区渡辺通4丁目のセントラルホテルフクオカで新体制発足後初となる幹事会を開催した。

支部長挨拶で矢谷学・新支部長は「新年交礼会などの準備のために緊急招集した。支部長就任後、最初の大きな行事となる。皆さまのご協力を仰ぎたい」などとあいさつ。

続く議題では、土井経世幹事が市支部総会の収支を報告。総会会費と祝儀で収入は504,000円、総会会場費・飲食費や景品代、返信葉書郵送費、総会運営費で支出は507,459円。3,459円の赤字だったこ

とを報告した。赤字の原因は出席予定者の欠席が複数あったことで、今後の対策の必要性が指摘された。新年交礼会は25年1月17日（木）18時半からセントラルホテルフクオカで開催することが議決された。また、新年交礼会の開催を西日本新聞で告知広告を打つという提案が石迫弘久幹事からなされ、承認された。さらに、県支部で開催する大学の公開講演会は市地域支部が中心的役割を担うとの合意があるとのことで、25年9月をメドに開催するという方向で決まった。

その他、東京六大学ゴルフ会報告、台湾支部総会報告などが報告された後、幹事会は散会となった。

平成25年 明治大学校友会新年交礼会のご案内

福岡市地域支部は25年1月17日（木）、中央区渡辺通4丁目のセントラルホテルフクオカで平成25年新年交礼会を開催する。

当日は福岡市地域支部に所属する校友をはじめ、県支部役員や県父母会の来賓の出席も予定されている。新役員体制となって初の交礼会。より多くの校

友の皆さまのご参加をお待ちしております。

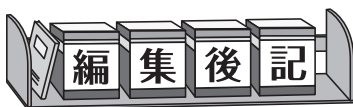
詳細については同封の案内チラシにて。

出席・欠席を問わず、同封のハガキでご返信を。

なお、周りにご案内が届いていないという校友がいらっしゃれば、お誘いの上、ご出席いただけますようお願いいたします。

平成25年 主要日程

日時	行事	場所
5月25日（土）	福岡県支部総会	八仙閣本店（予定）
6月 8日（土）	韓国同窓会総会	ソウル
7月28日（日）	校友会定時代議員総会	リパティータワー
8月中旬	福岡支部だより「風のふくおか」第32号発行予定	
9月未定	福岡市地域支部総会	セントラルホテルフクオカ（予定）
9月未定	明治大学公開講演会	会場未定
10月 5日（土）	第49回全国校友大分大会	別府ビーコンプラザ
10月 中旬（日）	第16回ホームカミングデー	アカデミーホール他
11月 9日（土）	台湾支部総会	台北
12月 中旬	福岡支部だより「風のふくおか」第33号発行予定	



多くは語りませんが、この号をもって編集委員長を辞することになりました。もともと、前編集委員長の本田博志校友の“中継ぎ”役として編集委員長を引き受けたもので、支部だよりのあるべき、ひとつの方向性は示すことができたのではないかと考えております。後任の編集委員長は、編集委員が平成会中心の構成であることもあり、平成会の女賀信治会長に平成会から選出していただけるよう要請しております。短い間でしたが、紙面構成上ご協力を賜りました校友の皆さまに、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

斉藤

編集委員長 齊藤 博文（平元文）
 委 員 佐野 貞和（昭59工）
 ” 今井 葉子（平4 営）
 ” 中村 徳子（平4 営）
 ” 石迫 弘久（平8 文）
 ” 女賀 信治（平9 商）
 ” 吉村 香織（平19 営）
 校友会事務局 高野 礼子（平元法）
 制作・印刷 三栄印刷株式会社

